

大阪大学大学院薬学研究科 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開

1. 研究課題名	セルフメディケーション行動の要因調査
2. 研究責任者 (所属・職位・氏名)	大阪大学大学院薬学研究科・助教・田 雨時
3. 倫理審査と承認日	【承認日】2024年2月28日（※西暦で記載下さい） 【審査】大阪大学大学院薬学研究科・薬学部臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の承認を得て実施する。
4. 研究実施期間	2024年2月28日 ～ 2026年03月31日
5. 共同研究機関および 各施設の研究責任者 (※多機関共同研究の場合記載)	共同研究機関 神戸学院大学心理学部心理学 研究責任者 准教授 毛 新華
6. 研究の目的・意義	【研究の目的】 本研究の目的は、日本の一般市民が風邪や咳などの軽い症状を抱えた際のセルフメディケーション行動に影響を与える要因を解析することである。従来の人口統計的特徴だけでなく、自覚の健康状態やヘルスリテラシー（健康に関する知識や能力）に加えて、これまで国内で行われてこなかった市民個人の性格特性や自己効力感などの心理学的な特性も分析対象とする。 【研究の意義】 本研究の意義は、一般市民が風邪や咳などの軽い病気の際に行うセルフメディケーション行動を理解することとその行動に影響を与える要因を明らかにすることにある。従来の人口統計的特徴だけでなく、市民の性格特性や自己効力感などの心理学的な特性まで分析することで、市民の行動特性を理解する一助となる。さらに、政策立案者にとって、セルフメディケーションの推進における注目点をより明確にすることができる。したがって、本研究の成果を活用する事により効果的なセルフメディケーション推進政策が実施されれば、社会全体に影響を与える可能性が期待される。また、心理特性とセルフメディケーション行動に関する研究における日本と世界のギャップを埋める一助となることが期待される。
7. 対象となる試料・情報、その取得期間、利用方法	2024年4月～7月の間に、CrowdWorksにて、【大阪大学】市民の医療選択傾向に関する調査で、回答者の募集を実施した。応募者から無記名で電子アンケートの回答を得た。データ分析後、論文・学会での発表を実施する予定。（ただし、投稿雑誌によって、データ公開が勧奨される、あるいは義務づけられている場合が多い。その際に、雑誌指定のサイト等にてデータが公開される可能性がある。）
8. 利用または提供する 試料・情報の項目	電子アンケート調査票に回答した内容（回答者の属性、一般用医薬品によるセルフメディケーションの実施と病院受診の選択性、一般用医薬品を選択する際にの相談者、一般用医薬品の使用期限の有無、ヘルスリテラシー（eHEALS）、性格特性（TIPI）、自己効力感（Japanese Adaptation of the General Self Efficacy (GSE) Scale）、他）。
9. 研究対象者またはその 代理人の求めにより、研究 対象者が識別される資料・ 情報の利用または他の研究 機関への提供を停止するこ と及びその方法	アンケートは個人情報を含まないため、回答送信後は原則回答の削除ができない。 しかし、回答者が、回答撤回の意思を表明し、回答を特定できる情報を研究チームに正しく提供した場合、研究チーム側で回答を特定できる場合のみ、当該回答者の回答を削除できる。
10. 研究資金・利益相 反	研究資金：運営費交付金などの公的資金 利益相反：なし
11. お問い合わせ先	大阪大学大学院薬学研究科 助教 田雨時 TEL:06 - 6879-8242 EMAIL:yushi-tian@phs.osaka-u.ac.jp